

資料 2

令和 8 年度 第 1 回
南風原町地域公共交通会議

南風原町mobi導入の目的について

南風原町mobi導入の目的について

1. 実施概要

項目	内容
導入目的	<p>本町は、県都那覇市に隣接し、南部地域や中北部地域間の移動における交通の要衝となっており、その地理的要因から<u>通勤、通学及び帰宅時間帯等において、本町内の道路で渋滞が発生している</u>。本町内を通過する路線バスは、東西軸の幹線道路を主なルートとしており、<u>幹線道路から外れた地域や南北軸で移動する場合、公共交通の利便性が低い状況となっており、町民の移動手段は自家用車に偏(かたよ)る傾向が見られる</u>。そのため、本町に住む<u>運転免許証を持たない高齢者や子どもといった移動困難者の移動支援</u>が求められている。</p> <p>また、観光客が移動する際に、移動する手段が乏しいことから、<u>観光客の移動支援が必要</u>と考えられる。</p> <p>以上のことから、誰もが気軽に使いやすく、日常生活を支える相乗り型オンデマンド交通を定額で提供することにより、<u>移動しやすい環境を整えることを本実証運行の目的とする</u>。</p> <p>本実証運行を通じ、<u>地域の事業者と連携し</u>、まちの活性化を図ると同時に、<u>移動データの共有</u>などを通じて既存公共交通との<u>相乗効果を高め</u>、将来に向けて安心できる、<u>持続可能な移動サービスの提供</u>を目指す。</p>
運行事業者	町内の運行事業者による輪番または同時運行、その後順次拡大予定
運行態様	道路運送法第21条での運行
営業区域・運送の区間	南風原町全域（10.76km ² ）及びその周辺施設（南部徳洲会病院、与那原中央病院） ※ただし、町外から町外への運行はしない。
利用種別	営業区域内をリアルタイムオンデマンド運行で実施
運行経路	予約に基づきシステムが自動生成した経路を運行 (AIオンデマンド型交通)